

行政報告

この度の令和二年七月豪雨により、熊本県や鹿児島県をはじめ日本全国で甚大な被害がもたらされました。お亡くなりになられた方々の御冥福を謹んでお祈り申し上げますとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

本市では、七月六日から十四日まで緊急消防援助隊山口県大隊として、二十八人の消防職員を熊本県八代市やつしろし、球磨郡球磨村くまぐんくまむらへ派遣し、救助活動に従事いたしました。また、住宅の被害調査を行うため、二人の事務職員を七月十八日から二十三日まで熊本県葦北郡津奈木町あしきたぐんつなぎまちへ派遣いたしております。被災地の一日も早い復旧・復興を願っております。

近年、想像を超える大規模災害が頻発しております。平成二十一年豪雨災害の教訓をいかして、本市においては、緊急自然災害防止対策事業を活用し、他市に先駆けて、集中的に河川の浚渫を行っております。国や県と一体となった河川管理の取組により、一定の効果が現れているところであり、今後とも国や県と連携して洪水防止対策など防災対策に取り組んでまいります。

新型コロナウイルス感染症への対応について

新型コロナウイルス感染症の感染者数は、いまだ全国的に高い水準で推移しており、本市においては、七月下旬に再び感染者が確認されてから、六人の感染者があり、県内でも、先週、クラスターが発生するなど、七月中旬から昨日までに百二十七人の感染者が確認されております。

こうした中で、PCR検査の必要な市民の方が迅速かつスムーズに検査を受けられるよう防府医師会の御協力の下、明日九月一日に、「地域外来・検査センター」を休日診療所に開設することとしております。

なお、一日も早く検査体制を整備する必要があり、議会にお諮りするいとまが無かったことから、予算につきましては、専決処分により措置いたしております。新型コロナウイルス感染症対策につきましては、これまでの補正予算において、福祉施設等の衛生対策支援事業をはじめとする感染防止対策や子育て支援・飲食業活性化事業、プレミアム付商品券発行事業などの経済対策の予算を計上し、鋭意取り組んでいるところです。

この度の補正予算でも、雇用情勢の悪化に備えての離職者雇用の奨励事業や妊産婦、高齢者の健康対策事業等に係る予算を計上し、新型コロナウイルス感染症対策に取り組むことといたしております。この感染症との戦いは、長期にわたることが見込まれます。今後とも必要な対策は講じていかなくはなりません。このため、国等への要望を行うとともに、市としても未実施の事業を精査するなど、財源の確保に努めてまいりたいと存じます。

こうした中で、昨年、第五十回を迎えた歴史ある防府読売マラソン大会については、去る八月十二日に開かれた主催者会議において、新たな半世紀に向けて歩みを進めるため、本年十二月二十日に開催することを決定させていただきました。新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの文化・スポーツ行事が延期や中止とされてきた中で、市として、児童・生徒には、その力を発揮する場が必要と考え、八月上旬には、感染防止に万全を期して、「2020防府カップ」市内中学校秋季体育大会を開催し、一昨日には、キリンレモンスタジアム陸上競技場で、小学生を対象とした陸上教室を開催したところです。

また、十月には、セルビア共和国女子バレーボールチームのホストタウン事業として、「セルビア杯」と銘打った市内中学校のバレーボール大会を実施するとともに、公会堂のオープニングイベントとして、市内小中学校の吹奏楽部によるコンサートを開催することとしています。

そして、第五十一回防府読売マラソン大会兼第二十一回日本視覚障がい女子マ

ラソン選手権大会は、参加者の一般枠を県内に限り、市民枠・県民枠合わせて三百人に限るなど参加者の感染症対策を最優先とし、万全の対策を講じた上で、実施してまいります。歴史ある本大会を途切らすことなく将来に繋げ、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、市民に元気が出る取組を進めていくことで、防府市を盛り上げていきたいと考えています。

新型コロナウイルスとの共存を前提とした新たな日常の確立に向け、市民の皆様とともに歩みを進め、この難局をともに乗り越えていきたいと考えております。議員の皆様のお力添えをお願い申し上げます。